

学報



2017 年 12 月 Vol. 724

下呂市と連携に関する協定を締結

第 50 回岐阜大学フォーラム 「環境ユニバーシティフォーラム」開催	01
秋の国際月間「留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会」を開催	02
スブラス・マレット大学（インドネシア）副学長らが岐阜大学を表敬訪問	04
第 14 回産学ツーリズムを開催	05
岐阜大学、岐阜薬科大学、サラマンカ大学の三大学間で基本合意	06
秋の国際月間「地元企業との交流会」を開催	07
教育学研究科教職実践開発専攻と北方町が「教員の資質向上に向けた連携に関する覚書」を締結	08
「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を開催	09
アルバータ大学留学報告会「UofA に行ってみよう会」を開催	10
秋の国際月間 外国人留学生交流フォーラム～日本企業の中にある活躍の場所～を開催	11
秋のクリーンキャンパスを実施	12
平成 29 年度第 7 回学長記者会見を実施	13
下呂市と連携に関する協定を締結	14
学位授与	15
叙位・叙勲	16
表彰受賞者	17
産官学連携の実施状況	18
メディア掲載一覧	19
諸会議	25
主要日誌	27
人事異動（学内限定）	28
平成 29 年度永年勤続者表彰（学内限定）	29

第50回岐阜大学フォーラム 「環境ユニバーシティフォーラム」開催

岐阜大学は11月1日（水）、第50回 岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催した。この行事は、本学が「環境ユニバーシティ宣言」した11月を岐阜大学環境月間と定め、関連行事として毎年開催しているもの。

今回は、岐阜県立森林文化アカデミー教授の横井秀一氏を講師に招き、学内外から96名（内訳：教職員72名、学生13名、一般市民11名）の参加者があった。

講演に先立ち、横山総務・財務担当理事による挨拶と向井応用生物科学部教授による横井氏の紹介が行われた。

その後横井氏より「森は岐阜の宝もの～この宝を未来に引き継ぐために～」と題し講演した。この中で横井氏は、岐阜は森林率が県土の81%と高く、日本の文化は森の文化であるとし、森林の機能や現状について歴史を含めて語った。

また、「森林は破壊と再生を繰り返しており、自然の力と人の力に時間が加わって成り立っている。災害国日本にとって、森林は国土保全に欠かせないものであり、森林資源は日本にとって再生可能な重要資源である。森林を保全するには自然の力に沿うことが大切であり、人の力だけでは成立しない」と話され、よりよい状態の森林を未来に引き継ぐために森林管理を担う人材育成について期待を述べた。

講演の後には、横井氏と向井氏との対談が行われ、「地域の活性化と森林の活用法について」など、参加者から寄せられた多数の質問に答えた。そのなかでその場所にふさわしい森林の例を尋ねられ、横井氏は「使う人たちが求める森林がよいと思う。ただし、その土地に合わせて無理のないところで活用していくことが大切だ」と述べた。

参加者からは、興味深いテーマでおもしろかった、先生の経験からのお話が良かった、質問に丁寧に答えて頂き専門意識を感じました、などの感想があった。

岐阜大学は、今後も様々な知識を集結して環境対策を推進していく。



挨拶をする
横山正樹 総務・財務担当理事



講師紹介をする
向井譲 応用生物科学部教授



講演をする 横井秀一 氏



対談（横井氏と向井氏）

秋の国際月間

「留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会」を開催

グローバル推進本部は、11月2日（木）、秋の国際月間の一環として「留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会」を生協第2食堂にて開催した。

本懇談会は、森脇学長をはじめとする役員、部局長等と外国人留学生及び外国人研究者並びにその家族等が一堂に会し、親睦を図ることを目的としており、今年度で4度目の開催となる。

はじめに森脇学長から開会の挨拶の後、役員等の紹介があり、その後、鈴木グローバル推進本部長より乾杯の発声となった。本会は立食パーティー形式で行われ、参加者らは、食事と歓談を楽しみながら、互いの交流を深めた。

今回、余興として、国別に構成された学生グループ計3チームが、それぞれの出身国にちなんだパフォーマンスを披露した。インドネシアの学生達は歌や伝統的な踊り、「Pencak Silat」と呼ばれる空手の型のような武術を、バングラデシュの学生達は母国で話されているベンガル語について説明した後、伝統的な歌や踊りをそれぞれ披露した。また、岐阜大学邦楽部は琴を用い、日本古謡である「さくらさくら」の演奏を披露した。

観衆等は、各国の音楽が醸し出す独特な雰囲気や音色、迫力ある武道の技に熱心に見入っていた。終了後、各チームの代表者に記念品が手渡され、熱のこもったパフォーマンスに対して嶋グローバル推進副本部長から賛辞の言葉が述べられた。最後に、小山グローバル推進副本部長から閉会の辞が述べられ、大盛況の内に閉会となった。

今回の懇談会には、約130名の参加があった。開催後のアンケートでは「学長や教授、他国の留学生と話ができて良かった。」「文化の紹介が興味深く、良いパフォーマンスだった。」といった意見のほか、「今後もこのような会に参加したい。」という声も多く聞かれたため、来年度以降、ますますの盛り上がりが見込まれる。

本懇談会は、普段なかなか接する機会のない役員等と留学生・外国人研究者との間に交流の場を提供するとともに、世界の様々な文化に触れ、異文化理解を深める場としても、大変実りある機会となった。



記念撮影



学生と懇談する森脇学長



学生によるパフォーマンス

スブラス・マレット大学（インドネシア）副学長らが岐阜大学を表敬訪問

11月7日（火）から9日（木）にかけて、インドネシアのスブラス・マレット大学から Sutarno 副学長、Hidayatullah 研究科長他3名の教授が来学し、杉山誠応用生物科学部長、千家正照連合農学研究科長を表敬訪問した。

本学とスブラス・マレット大学は、平成25年7月に大学間学術交流協定を締結しており、大学院連合農学研究科では、両大学間の博士課程の学生及び教職員の研究交流促進を発展させるため、ダブル PhD ディグリープログラムの稼働に向けた懇談を行った。懇談では、カリキュラムの確認及び学生の受入れ環境の確認等活発な意見交換を行った。

また、スブラス・マレット大学から留学している博士課程学生4名、修士課程学生4名、サンドイッチプログラム学生等4名の研究環境を確認するための研究室訪問も行われ、指導教員から研究室紹介及び学生から現在の研究状況のプレゼンテーションが行われ、有意義な研究交流となった。



集合写真（学部長室）



研究室訪問

第14回産学ツーリズムを開催

岐阜大学は、11月13日（月）及び14日（火）に第14回産学ツーリズムを実施した。

この取り組みは、学長をはじめ大学の執行部が産業活動の現場を訪れ、地域を支える産業の実情を把握し理解を深め、社会貢献の取り組みに役立てることを目的として平成19年度から実施している。

今回は飛騨市内にあるアルプス薬品工業(株)、神岡鉱業(株)及びイビデン物産(株)を訪れ、大学紹介、意見交換及び工場見学を実施した。

原薬の製造メーカーであるアルプス薬品工業(株)では、品質管理部門やステロイド原薬製造工場を、神岡鉱業(株)では、廃バッテリー等から鉛やプラスチックを再生する鉛リサイクル工場を見学した。イビデン物産(株)では、乾燥野菜の製造工場において、選別工程や乾燥工程の現場を見学した。

また、13日には、飛騨市役所において、飛騨市長をはじめ商工団体及び訪問先企業、金融機関等の代表者と懇談会を実施した。懇談会では、森脇学長から岐阜大学の現状と展望について説明後、都竹飛騨市長から飛騨市の現状について説明があった。その後、人材育成・定着について意見交換をした。

訪問した3社ともに長期にわたり地域の産業の発展に寄与してきた企業であるが、飛騨市における労働人口の減少については、深刻な問題であり、人材育成や人材確保について大学へ寄せる期待は少なくない。今回のように大学幹部自ら地元企業へ訪問し、現状を把握することは非常に重要であり、産学連携や人材育成により今後も地域へ貢献できるよう取り組んでいきたい。



訪問先企業にて、挨拶をする学長



懇談会にて、説明をする学長



飛騨市役所での懇談会の様子（発言する王副学長）

岐阜大学，岐阜薬科大学，サラマンカ大学の三大学間で基本合意

11月9日（木），岐阜大学鈴木文昭理事（国際・広報担当）・副学長及び岐阜薬科大学原英彰副学長兼研究科長がサラマンカ大学を訪問，ダニエル・エルナンデス・ルイペレス総長と懇談した後，古田肇岐阜県知事立会いのもと，岐阜大学・岐阜薬科大学・サラマンカ大学の三大学間で基本合意を取り交わした。

この合意では，三大学間で連携して定期的にシンポジウムを開催すること，美濃・伊吹山の薬草に係る文献調査を行うことが確認された。

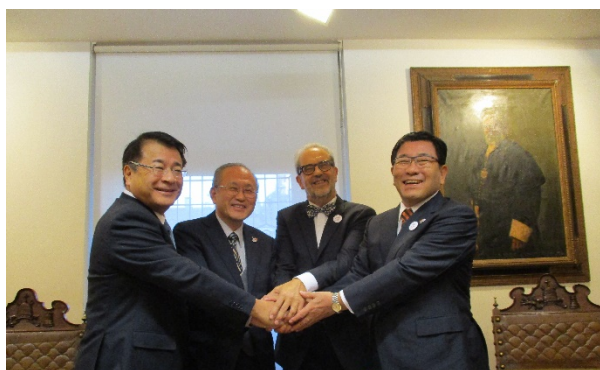
サラマンカは，岐阜県 OKB ふれあい会館内のサラマンカホールの名の由来となった都市である。1990年にサラマンカ大聖堂のパイプオルガンを岐阜県白川町の故辻宏氏が修復したことをきっかけとして岐阜県とサラマンカ市との交流が続いている。

今回締結したこの合意書に基づき，三大学は今後連携して事業を実施していく。

第一回のシンポジウムは，来年岐阜県で実施されるサラマンカ大学 800 周年記念事業の一環として来春開催される予定。

また，岐阜大学と岐阜薬科大学は，サラマンカ大学の協力のもと，13 世紀からサラマンカ大学にある中世図書館で関連文書の調査も開始した。

岐阜大学は，岐阜薬科大学，サラマンカ大学とともに大学間での連携を深めていく。



古田知事（右端）立会いのもと、本学鈴木理事（左から2番目）と岐阜薬科大学原副学長（左端）、サラマンカ大学ルイペレス総長（右から2番目）との三大学での基本合意書締結



サラマンカ大学中世図書館での文献調査の様子

秋の国際月間
「地元企業との交流会」を開催

11月15日(水)、グローバル推進本部は、秋の国際月間の一環として「地元企業との交流会」を開催した。本交流会は、日本での就職を希望している外国人留学生や海外で働くことに関心の高い日本人学生を対象に岐阜県内の企業を広く知ってもらうことを目的に岐阜信用金庫との共催で平成24年度から毎年実施しており、今回で6回目の開催となる。今回は、飲食関係の企業4社及び、製造業や輸出入業など幅広い業種から16社の参加を得て、外国人留学生及び日本人学生合わせて約30名が参加した。

第一部では、今回初めての試みとなるスイーツ試食会を開催した。学生に和洋菓子を試食してもらい、味や見た目についてどう感じるのか感想を出し合うイベントとなった。留学生にとってあまり馴染みのないお菓子でも、試食してみると意外と好評だったようである。

第二部では、各企業が自社紹介としてプレゼンテーションを行った。企業が取り組む事業内容がとてもよく分かる説明で、学生も真剣に聞き入っていた。その後、学生と各企業が直接話せる場となる懇談会へとうつり、企業ブースでは学生からの質問や疑問が飛び交っていた。

このような取り組みを通じて、今後ますます本学からグローバルな視点を持ちながら地域で活躍する「グローバル人材」が輩出されていくことが期待される。



スイーツ試食会



地元企業ブースでの懇談

教育学研究科教職実践開発専攻と北方町が「教員の資質向上に向けた連携に関する覚書」を締結

岐阜大学教職大学院は、学校現場の実践や開発に、即戦力やスクールリーダーとして貢献する高度な教育専門職を養成する専門職大学院である。平成29年度から、現職教員が勤務しながら大学院で学べる教育実践開発コースが設置された。このコースでは、学校、地域の中核となるミドルリーダーを養成するために、「授業開発、教育臨床実践、特別支援教育」に関する高度な課題解決能力を形成するためのカリキュラムを組んでいる。

11月21日（火）に締結した北方町との覚書は、北方町と連携したミドルリーダー養成の仕組みである。現職教員が勤務しながら学び、その学びが学校や地域に還元できるように、町が支援する。その期待に応えられるように、教職員一同、努力する。



覚書締結の様子 左 戸部町長 右 池谷研究科長



左から 名取教育長 中村副町長 戸部町長 池谷研究科長 平澤教職大学院代表 吉村准教授

「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を開催

岐阜大学は11月29日（水）、「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を、森脇学長、横山総務・財務担当理事、統括環境管理責任者の櫻田教授（工学部）、副統括環境管理責任者の岩間准教授（応用生物科学部）列席のもと、本学学長室にて行った。

本学では、附属病院を除く全学でISO14001を認証取得しており、毎年職員と有志の学生によるISO14001内部環境監査を行っている。内部環境監査とは、本学の環境マネジメントシステムがISO14001の規格に沿って運用されているかを学内の監査員が確認するものである。

参加学生はISO14001の規格の概要や、内部環境監査の手法について研修を受けたうえで、実際に職員とともに内部環境監査に参加し、学生からの目線で監査を行う。

授与式では、学長から本研修を修了した学生一人ひとりに修了証書が授与された。その後の意見交換で、学生は「大学の環境活動について詳しく知ることができ、大変勉強になった」「学生の認知度がまだまだ低いので、もっと周知した方がいい」と内部環境監査に参加した感想を述べ、学長は「継続することが大切なので、ぜひこの活動のバトンを後輩に引き継いでいってほしい」と激励の言葉をかけた。

学生たちが、今後この研修を活かし環境配慮活動に貢献していくことを期待する。



集合写真（手前左端：森脇学長、手前右端：横山総務・財務担当理事）



意見交換の様子

アルバータ大学留学報告会「UofAに行ってみよう会」を開催

11月22日（水）に、岐阜大学図書館1階アカデミック・コアにて、アルバータ大学 ESL (English as a Second Language) の報告会「UofAに行ってみよう会」が開催された。

アルバータ大学（カナダ）への夏期短期留学プログラムは、この2017年度から新たに始まったプログラムである。学生たちは、岐阜大学でのおよそ2か月間の事前語学研修で、語学はもちろん渡航先や海外へ留学する際に気を付けるべき基本事項などをあらかじめ学んだ後、カナダアルバータ州エドモントンにあるアルバータ大学へ3週間留学した。現地では主に午前中に各自のレベルに合った英語の授業を受講し、午後はアクティビティが催されたり、自由時間であれば市内に繰り出したりし、英語を使いながら現地の生活や文化を体験した。学生たちは、留学期間中ホームステイで滞在した。

今回の報告会では、アルバータ大学に留学した学生のうち6名が、一連のスケジュールや現地での生活、アルバータ大学、ロッキー山脈へのツアーをはじめとしたプログラム内で実施されたアクティビティ、エドモントン市の名所、カナダの文化、ホームステイ体験などについて報告した。

報告の締めくくりには、留学前の目標設定を明確にし、その目標を常に念頭に置いて留学生活を送ることでより充実した留学生活が送れるとメッセージが伝えられた。

3週間の短期留学での経験談は非常に興味深く、参加者は熱心に聞き入っていた。

※UofA・・・University of Alberta



報告会の様子



レイモンド・コウ特任准教授からの挨拶

秋の国際月間
外国人留学生交流フォーラム～日本企業の中にある活躍の場所～を開催

グローバル推進本部は11月22日（水）、十六銀行と十六総合研究所の共催で、秋の国際月間の一環として「外国人留学生交流フォーラム～日本企業の中にある活躍の場所～」を研究推進・社会連携機構1Fミーティングルームにて開催した。

この行事は学生に、地元企業の優れた点・成長性を知ってもらうことを目的としており、今回で3度目の開催となる。

当日は、13名の留学生の出席があり、十六総合研究所の司会でフォーラムは進められた。

最初に、十六総合研究所リサーチ&コンサルティング部長 古池氏が岐阜県内産業の状況と企業が求める人材について詳しい分析データをもとに留学生の就職状況について話された。

そしてアピ株式会社本社営業部長 斎藤氏及び株式会社 KVK 総務部長 北川氏より事業内容や将来の展望などについて自社紹介が行われた。次にパネルディスカッションにうつり、企業が求める人材や採用のプロセスなどについて討論が交わされた。今回は、実際に就職している先輩留学生の貴重な意見も聞くことができたほか、留学生達の就職に対する不安や疑問について自身の経験談をもとに語られた。

最後に、各企業を囲んで2グループに分かれての座談会が行われた。最初は少し緊張した面持ちの学生たちでしたが、次第に和やかな雰囲気となり、企業の担当者へ積極的に質問したり、将来就きたい仕事についてなど、話がとてはずんでいた。

今後も、グローバル推進本部ではこのような行事を通じて学生に就職先の選択肢を紹介し、将来的に国・地域を問わず活躍できるグローバル人材を育成できるような機会を提供していく。



自社紹介の様子



グループ座談会の様子

秋のクリーンキャンパスを実施

岐阜大学は、11月22日（木）、清掃活動「秋のクリーンキャンパス」を実施した。

本学は、平成21年11月に『環境ユニバーシティ』を宣言し、環境に配慮した大学づくりに取り組んでいる。この『環境ユニバーシティ』を宣言した月に因んで、毎年11月を岐阜大学環境月間とし、さまざまな行事を実施しており、「秋のクリーンキャンパス」もその環境月間行事の一環として毎年実施している。

当日は、教職員や学生675名が参加し、一時間程度キャンパス内のごみや落ち葉などを集めた。また、放置自転車の整理も行われた。この他、例年どおり、本学のキャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員や学生の参加協力があった。

キャンパス内の清掃活動とともに、キャンパス周辺にある新堀川の川岸の清掃も毎回行っている。その活動に各学部などから32人が集まり、横山総務・財務担当理事の挨拶の後、参加者は力を合わせて川岸のごみ拾いなどの清掃活動を行った。



新堀川清掃開始の挨拶をする横山総務・財務担当理事



新堀川清掃活動の様子



放置自転車の整理

平成29年度第7回学長記者会見を実施

本学は、11月22日（水）に、平成29年度第7回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「iGEM Gifu この4年間の歩み ―2017年度国際合成生物学大会（iGEM）ブロンズメダル受賞―」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行った後、杉山応用生物科学部長及び矢部応用生物科学部教授から2017年度国際合成生物学大会（iGEM）概要説明を、参加した学生からiGEM Gifuの詳細を説明した。

国際合成生物学大会（iGEM）は、平成29年11月9日（木）～13日（月）にボストン（米国）で開催された。世界40カ国、約300チームが出場し、日本からは岐阜大学を含め9チームが参加した。

本大会では、研究内容のポスターセッション、プレゼンテーション、質疑応答及びヒューマンプラクティス等で総合的に評価され、今年度はブロンズメダルを受賞した。本学チームは酒作りが盛んな岐阜県を世界に広めたいという思いから「日本酒の腐敗を感知する酵母を作成する」というテーマで挑んだ。

また、4年目の出場となる今回は、渡航費等資金に関しても学生自らクラウドファンディングを用いて集め、全ての活動を自主的に行ってきた。

学生は「4年連続で出場していることを誇りに思う。世界各国の同じ学生の立場で意見を言い合える場は自身を成長させることができる。来年も頑張りたい」と述べた。



森脇学長による将来ビジョンを用いて説明する様子



国際合成生物学大会（iGEM）を説明する矢部教授



iGEM Gifu の活動を説明する学生

下呂市と連携に関する協定を締結

岐阜大学と下呂市は、11月24日（金）に連携に関する協定を締結した。

本協定は、岐阜大学と下呂市が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展及び未来を担う人材育成に寄与することを目的としている。なお本学が地方自治体と連携協定を締結するのは 22 件目となる。

協定締結式では、服部秀洋下呂市長より「下呂市は人口減少が著しい地域だが、下呂温泉を始めとした観光地や豊かな自然がある。岐阜大学との連携により、人口減少を食い止め、新しい発想により地域を守っていききたい。」と、森脇学長からは「下呂市は広く、観光や森林といった様々な産業を有している。そのような場に学生が出向いて、地域の方々と話をする中で課題解決に取り組みたい。」と挨拶があった。

今後岐阜大学と下呂市は、移住定住の促進や空き家の対策等について協議を進めていく予定である。



協定を締結し、握手を交わす森脇学長（右）と服部市長

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第1053号	博士(医学)	馬場 慎也	平成29年11月15日	Anti-diabetic drug alogliptin protects the heart against ischemia-reperfusion injury via GLP-1 receptor-dependent and -independent pathways involving NO production in rabbits. (糖尿病治療薬のアログリプチンはウサギの心臓の虚血再灌流障害においてGLP-1受容体を介する経路と、GLP-1受容体を介さずNOを生成する経路を介して保護効果を示す)
乙第1492号	博士(医学)	橋本 健一	平成29年11月15日	Complementary glucagonostatic and insulintropic effects of DPP-4 inhibitors in the glucose-lowering action in Japanese patients with type 2 diabetes (日本人2型糖尿病におけるDPP4阻害薬による血糖低下作用のグルカゴンとインスリン分泌の相補的作用)

平成29年秋の生存者叙勲 ―本学関係者1名が受章―

平成29年秋の生存者叙勲が11月3日に発表され、本学関係者では次の方々が受章された。

教育研究功労

瑞宝中綬章 矢野 紳一 氏（名誉教授、元工学部教授）

表彰受賞者

環境システム計測制御学会(EICA) 奨励賞 受賞

受賞者：李 富生 流域圏科学研究センター教授

業績名：淀川原水へのセラミック膜ろ過技術の適応研究（Ⅱ）

受賞日：平成 29 年 11 月 9 日

先端錯体工学研究会 奨励賞 受賞

受賞者：萬関 一広 工学部助教

業績名：先端錯体工学研究会 奨励賞

受賞日：平成 29 年 11 月 23 日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成29年11月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
応用生物科学部	鈴木 徹	味の素 AGF(株)
工学部	松下 光次郎	トヨタ自動車(株)
流域圏科学研究センター	丸谷 靖幸	三井共同建設コンサルタント(株)
工学部	八嶋 厚	(株)高速道路総合技術研究所
流域圏科学研究センター	李 富生	(株)メイホーエクステック
応用生物科学部	稲垣 瑞穂	森下仁丹(株)
工学部	速水 悟	(株)セイノー情報サービス
工学部	武野 明義	マクセル(株)
教育学部	中田 隼矢	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

○受託研究

(平成29年11月契約分)

部局名	研究代表者	
医学系研究科	鶴見 寿	京都大学
医学系研究科	山本 哲也	筑波大学

メディア掲載一覧

○新聞

(平成29年11月分)

掲載日	新聞名	内容
11月1日	日本経済	岐阜大、台風の渦から進路予測
11月1日	岐阜	飛騨産エゴマ、新調味料 搾油後の実活用、抗がん作用成分多く 産学官で共同開発
11月2日	読売	学校管理職 計画的に要請 全国初のコース ～教職大学院学校管理職養成コース～
11月2日	読売	FC 岐阜で就業体験 岐阜大と包括連携協定 スポーツ通じ人材育成
11月3日	岐阜	◎素描：岐阜に移り住んで ～紀ノ定保臣 教授～
11月3日	岐阜	親子で防災教室 危険箇所を確認 岐阜聾学校 ～研究推進・社会連携機構地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
11月3日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑮：「世界的美濃焼」誇りに 陶磁器生産日本一 ～教育学部 大藪千穂 教授～
11月4日	岐阜	健康フォーラム 「公開講座」生活に役立つ「腰痛と腰まがりについて」 予防のための知識と最新の治療
11月4日	朝日	エゴマの実 捨てず活用 産学官連携たれ商品化 ～応用生物科学部 矢部富雄 教授～
11月4日	読売	除草隊ヤギからドーナツ 加茂農林高生開発 山羊サミットできょう活動報告
11月5日	中日	全国山羊サミット 除草、イモ堆肥...活動報告
11月5日	岐阜	全国山羊サミット、美濃加茂で開幕 ヤギ活用で意見交換
11月5日	朝日	ヤギさん活用 共生を考える 美濃加茂でサミット
11月5日	読売	◎病院の実力：めまい 命に関わる疾患も ～医学部附属病院耳鼻咽喉科 青木光弘 准教授～
11月7日	岐阜	◎研究室から大学はいま：糖尿病の生活リスク探索 ～医学部附属病院第3内科 武田 純 科長・教授～
11月7日	中日	留学生や役員ら 歌や踊りで交流 岐阜大で懇談会
11月7日	読売	整調甘酒 岐阜大生 PR 販促プラン作成依頼
11月8日	岐阜	「岐阜大酒」完成へ着々 酒米、酵母、水 純県産で研究開発 ～応用生物科学部4年 奥村真衣さん～
11月8日	岐阜	県工業技術研が岐阜大、業者と連携 リハビリ装具軽量化 ～医学系研究科 青木隆明 准教授～
11月8日	岐阜	県の農業 未来を探る 岐阜学会が研究大会 ～杉山道雄 名誉教

		授～
11 月 9 日	岐阜	遠藤斉治朗記念科学技術振興財団 14 件に助成, 寄付金
11 月 9 日	岐阜	留学生ら絆深める 岐阜大, 歌や踊りで交流 ～連合農学研究科(インドネシア出身) アリ・ラマフさん～
11 月 10 日	中日	軽くて安い 下肢装具 県や岐阜大など開発「使いやすい」患者に好評
11 月 10 日	岐阜	◎素描: 司町から柳戸へ ～紀ノ定保臣 教授～
11 月 10 日	読売	岐阜大に県食品科学研 機能性表示食品開発へ
11 月 10 日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム【膝関節痛・股関節痛の知識と対処法】 ～医学系研究科整形外科学分野 秋山治彦 教授～
11 月 10 日	岐阜	税の習字・作文, 特別賞 95 点 【習字】岐阜市長賞 岩田郷志(教育学部附属小 3 年), 【作文】東海税務連絡協議会長賞 若原弘典(教育学部附属小 1 年)
11 月 11 日	毎日	岐阜大, 岐阜薬科大とスペイン・サラマンカ大 学術連携などで合意 ～鈴木文昭 副学長～
11 月 11 日	中日	サラマンカ大との交流促進合意 岐阜大, 薬科大 スペインで調印 ～鈴木文昭 副学長～
11 月 11 日	岐阜	岐阜大・岐阜薬科大, スペインで調印 サラマンカ大と学術連携へ合意 ～鈴木文昭 副学長～
11 月 11 日	朝日	足の装具軽量化 産官学で実現 県と岐阜大, 義肢メーカー
11 月 12 日	岐阜	11 月 12 日は「皮ふの日」 セルフチェック, 早期受診で早期発見! ～医学系研究科皮膚病態学 清島真理子 教授～
11 月 12 日	中日	障害者医療の取り組み紹介 羽島で大学教授ら
11 月 12 日	中日	跳ぶ技術磨いて自信 走り高跳び・学生王座奪還 赤松諒一選手(岐阜大 4 年)
11 月 14 日	岐阜	11 月 13 日世界糖尿病デー 糖尿病への理解深めよう 健康診断おろそかにしないで ～医学系研究科内分泌代謝病態学 武田 純教授～
11 月 14 日	読売	たれ 飛驒のエゴマで 油の搾りかす活用 産学官で研究 2 年半
11 月 14 日	毎日	下肢装具を軽量化 県などが脳梗塞患者向けに 従来品の 4 割 価格も安く
11 月 14 日	日本経済	「名古屋弁」? 岐阜由来です 岐阜大教授が方言辞典 ～教育学部 山田敏弘 教授～
11 月 14 日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 英語の教材, 学生が作成 ～教育学部英語教育講座 デイビッド・バーカー 准教授～

11月14日	中日	東海初の"動物の精神科医" 殺処分回避へ力になりたい ～応用生物科学部獣医学課程卒業 奥田順之さん～
11月15日	岐阜	「岐阜方言辞典」改訂へ 岐阜大の山田教授, 来月出版予定 「古里に誇り きっかけに」 ～教育学部 山田敏弘 教授～
11月15日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム【アレルギー疾患は体のサビが原因!?】 ～生命科学総合研究支援センター 犬房春彦 特任教授～
11月16日	岐阜	前期試験 2月 25, 26 日 岐阜大が来年度入試要項
11月16日	中日	岐阜弁の魅力 辞典に 多く残る古語や独自の言葉 ～教育学部 山田敏弘 教授～
11月16日	読売	岐阜大アメフト部 入れ替え戦応援を 東海学生リーグ ～アメリカンフットボール部～
11月16日	中日	入れ替え戦応援来て 三重で 18 日 岐阜大アメフト部 ～アメリカンフットボール部～
11月17日	朝日	岐阜大アメフト部 1部復帰へいざ あす入れ替え戦 ～アメリカンフットボール部～
11月17日	岐阜	◎素描: 病院の移転から13年 ～紀ノ定保臣 教授～
11月17日	岐阜	岐阜大アメフト部 1部復帰へ勝負 あす四日市で入れ替え戦 ～アメリカンフットボール部～
11月17日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑩:「養老の滝」伝説 名水や瓢箪, 広める価値 ～教育学部 大藪千穂 教授～
11月18日	岐阜	第 68 回岐阜新聞大賞選考委 各部門候補者を審査 ～選考委員長 森脇久隆 学長～
11月19日	読売	ホッケー女子代表監督 中学で講演 リオへの苦労 永井氏語る ～教育学部附属中学校～
11月19日	朝日	ドクターヘリ 出動昨年度の 1.3 倍ペース 専門の部門新設 自らニーズ検証 ～医学部附属病院 山田法顕 ドクターヘリ部門長～
11月19日	岐阜	岐阜大院元留学生の李教授 「岐阜は愛する故郷」 学生, 教員との思い出語る ～農学研究科卒業 李賛東さん～
11月20日	岐阜	筋肉つけて腰痛防いで 岐阜市で健康フォーラム ～医学部主催～
11月20日	岐阜	学校歯科保健考える 県歯科医師会が研究大会 ～医学系研究科 西村悟子 特任准教授～
11月20日	岐阜	ブラックバイト 法を味方に 弁護士が岐阜大生に対処法解説 ～岐阜大職員組合～
11月21日	岐阜	日系3世ペルー人医師, 郡上で親族と面会 「まるで家族」交流続

		ける約束 ～医学部留学生 日系3世 カワイ・カセダ・アンドレス・ヒデキさん～
11月21日	岐阜	岐阜大医学部の日系ペルー人留学生 ルーツ郡上で笑顔 祖父の故郷親戚3人と対面 ～医学部留学生 日系3世 カワイ・カセダ・アンドレス・ヒデキさん～
11月21日	岐阜	◎研究室から大学はいま：小児期に生活習慣病予防 ～医学系研究科疫学・予防医学分野 永田知里 教授～
11月21日	中日	「自分のゴールへ歩んで」 恩田聖敬さん講演 ～1年 原 直樹さん～
11月21日	朝日	ゴール見すえやりたいことを FC 岐阜前社長 恩田さん講演 ～1年 板津克昌さん～
11月22日	岐阜	「チーム医療」模擬体験 県内の医療系大学生ら 岐阜市で合同講義 ～医学部医学科4年 中井将仁さん～
11月22日	岐阜	教員の質向上へ連携 北方町と岐阜大教職大学院が覚書 研修会に講師派遣 ～池谷尚剛 教育学研究科長～
11月23日	毎日	産官学連携し商品化 健康志向高い消費者へ
11月24日	中日	がん闘病体験を原千晶さん語る 岐阜で公開講座 ～岐阜大サテライトキャンパス～
11月24日	読売	若者10人 県にもの申す 「岐阜の将来」知事交え会議 ～工学部 高木朗義 教授～
11月25日	岐阜	◎サタデーコラム：遺伝子の働き実証困難 ～医学系研究科 國貞隆弘 教授～
11月25日	岐阜	「難治性リンパ管疾患」治療薬 岐阜大病院が治験 ～医学部附属病院小児科 小関道夫 併任講師～
11月26日	朝日	「それぞれの癌」と共に、「それぞれの生」を生きる ～医学系研究科腫瘍外科 吉田和弘 教授～
11月26日	岐阜	備えて命を守るプロジェクト：地域防災力強化へ 官学連携で研究を実践に生かす ～清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 教授～
11月26日	岐阜	留学生の県内就職後押し 岐阜大や十六銀が交流フォーラム
11月26日	中日	地域に担う人材育成 下呂市と連携協定
11月26日	岐阜	"偶然"つかむ用意大切 岐阜市でサイエンスフェス ～教育学部附属中学校2年 櫻井竣悟さん～
11月26日	中日	視点鋭く日本語弁論 県内留学生サイさん最優秀
11月27日	岐阜	緊張しても堂々演奏 音楽教室の発表会 ～教育学部附属小学校1

		年 堀 壮真さん～
11 月 27 日	岐阜	慢性腎臓病 予防を啓発 大垣で管理栄養士ら ～医学部附属病院 腎臓内科 村田一知朗 特任准教授～
11 月 27 日	岐阜	移住定住の推進へ連携 岐阜大と下呂市が協定締結
11 月 28 日	中日	小中など P T A 取組を発表 ～教育学部附属小中学校～
11 月 28 日	中日	祖父が結ぶ日本の「家族」 郡上訪れ絆を確認 ～医学部留学生 カ ワイ・カセダ・アンドレス・ヒデキさん～
11 月 28 日	中日	教員の資質向上 北方町と連携へ 岐阜大教職大学院 ～池谷尚剛 教育学研究科長～
11 月 28 日	岐阜	森林アカデミー横井教授が講演 ～岐阜大学フォーラム～
11 月 28 日	岐阜	役立つペッパー 実演 岐阜市小中学校プログラミングコンテスト ～学習協創開発研究センター 益子典文 教授～
11 月 28 日	岐阜	◎研究室から大学はいま：がん治療へ免疫療法着目 ～医学部附属 病院血液内科 鶴見 寿 科長・臨床教授～
11 月 28 日	読売	住宅街にイノシシ 62 歳襲われケガ ～元特任助教 森元萌弥さ ん～
11 月 29 日	朝日	難病の薬 岐大が治験 承認薬ない難治性リンパ管疾患 国内に患 者数百人 20 年度承認めざす ～医学部附属病院小児科 小関道 夫 併任講師～
11 月 29 日	岐阜	劇団員、本番へ演技磨く ラッキー・キャッツ 岐阜市で 2, 3 日 公演 ～岐阜大演劇研究会 OB～
11 月 30 日	岐阜	農業災害補償制度 70 周年記念書写全国コンクール県大会審査結果 【岐阜新聞・ぎふチャン賞】 ～教育学部附属中学校 2 年 井上莉 那さん～
11 月 30 日	中日	北朝鮮主題に英語で議論 岐阜大付属中生と英の高校生 ～教育学 部 田中伸 准教授, 教育学部附属中生徒～
11 月 30 日	岐阜	岐大付中生と英国高校生, ネット電話授業 北朝鮮問題 熱い討論 ～教育学部 田中伸 准教授, 教育学部附属中生徒～
11 月 30 日	毎日	北朝鮮情勢を議論 岐阜大付中生と英の高校生 「経済的圧力を」 「人道支援を」 ～教育学部 田中伸 准教授, 教育学部附属中生 徒～
11 月 30 日	毎日	水と人 関わり学んで "川の神"吉村さん講演 ～工学部 2 年 大 平茉諒さん～
11 月 30 日	中日	災害への備え考える 講演や意見交換 岐阜大でシンポ ～地域減 災研究センター 小山真紀 准教授～

11月30日	中日	岐阜大病院が治験開始 「難治性リンパ管疾患」治療薬 薬事承認 得れば世界初 ～医学部附属病院小児科 小関道夫 併任講師～
--------	----	---

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成29年11月分)

放送日	番組名	内容
11月1日	NHK 総合 22:00～22:25 クローズアップ現代+	多治見市で実施している高齢者ヒップホップダンス ユニットの科学的検証を行い、研究論文としてまと めた内容が、インタビューを交えて紹介されます。 教育学部 春日 晃章 教授
11月6日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 地震対策 ～トイレの備蓄も忘れずに～ 清流の国ぎふ防災・減災センター 村岡治道特任准 教授
11月6日	テレビ愛知 21:54～22:00 「みらい PEOPLES」	工場の作業環境を改善するような研究を続けていき たいー 夢を追う神谷さんの姿に迫ります。 自然科学技術研究科 神谷美帆さん
11月20日	テレビ愛知 21:54～22:00 「みらい PEOPLES」	自然エネルギーの利用拡大につなげたいと、研究に 打ち込む高田さんの姿を追います。 工学部 高田清志郎さん
11月27日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 防災・減災センターのこれまでの取り組みと成果 清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太教授

◇第7回 部局長・部長会

11月2日（木）

（協議事項）

なし

◇第7回 授業編成専門委員会

11月6日（月）

（審議事項）

1. 平成30年度非常勤講師採用計画について
2. 平成29年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（後期）の配分（案）について
3. 平成29年度後学期特別聴講生等の履修について
4. 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について
5. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
6. 平成30年度新規開講科目について
7. 平成30年度開講授業計画（案）について
8. 休業日の授業実施について

◇第7回岐阜大学グローバル推進本部会議

11月15日（水）

（審議事項）

なし

◇第591回 役員会

11月16日（木）

（議事）

1. 岐阜大学と下呂市との包括連携協定の締結について
2. 平成29年度分教員人事について
3. 教育職員雇用申請について

◇第164回 教育研究評議会

11月16日（木）

（審議事項）

1. 平成30年度の全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担に関する申合せ（案）について

◇第8回 教学委員会

11月21日（火）

（審議事項）

1. シラバス様式の改定について（継続審議）
2. 応援奨学生取扱要項改正について

◇第7回入学試験専門委員会

11月22日（水）

（審議事項）

1. 平成30年度工学部ツイニング・プログラム（TP）入学者選抜試験学生募集要項（案）について
2. 工学部推薦Ⅱ選抜基準の一部改正（案）について
3. 工学部3年次編入学試験の変更（案）について
4. 平成32度以降の工学部3年次編入学一般入学試験方法の変更（案）について
5. 大学院自然科学技術研究科（修士課程）入学者選抜基準の一部改正（案）について

◇第592回 役員会

11月30日（木）

（議事）

1. 共同研究講座の設置等について
2. 教育職員雇用申請について

主要日誌

月 日	行 事 名
11/ 1	岐阜大学フォーラム(環境)
2	留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会(グローバル)
	第7回 部局長・部長会
6	第7回 授業編成専門委員会
8	クリーンキャンパス～オオフサモ駆除～
	岐阜大学防災シンポジウム
13	産学ツーリズム
15	第6回 グローカル推進本部会議
16	第591回 役員会
	第164回 教育研究評議会
18	岐阜大学出前講座
21	第8回 教学委員会
	永年勤続者表彰
22	第7回 入学試験専門委員会
	クリーンキャンパス (秋)
27	第5回国際ワークショップ(連農)
29	防災訓練
	学生ISO内部監査終了証授与式
30	第592回 役員会